



発行所
高知市丸ノ内
一丁目3の30
全国林野関連労働組合
四国地方本部
TEL821-2238
発行責任者
芹口竜一

窓口メモ

◇2023年度上期の人事評価の
期首スケジュールについて
(4/21)

◇2023年度暫定再任用に関す
る意向調査の実施について(4/
21)

◇盛土規制法の施行に向けた国有
林における盛土等の点検について
(4/28)

◇職員の安全確保について
(5/8)

◇公務災害の発生状況(4月期)
について(5/12)

労働運動の歴史にまなぶ

本員校
地合学
組入働
国新勞

労働組合があるからこそ 職場の労働条件がある

5月27日、「新入組合員
労働学校」を高知市で開催
しました。労働学校には、
2023年度新入組合員及
び地本青年女性委員会常任
委員が参加し、全体で14人
が受講しました。

校に参加しての感想等につ
いて意見交換を行い、その
後の懇親会では時間のゆる
す限り交流を深めました。

講座①については、宮口
地本書記長から、「労働組
合は労働者の置かれている
状態を少しでも引き上げる
必要性から生まれたこと」
について話されました。

今回の労働学校では、①
「労働組合―林野労組の取
り組み」②「労働者福祉活
動について」の2つの講座
について学びました。講座
後は、分散会方式で職場・
生活実態をはじめ、労働学

また、林野労組中央本部
が作成している学習資料
(国有林の歴史)等を基に、
国有林における度重なる組
織機構の統廃合等に対する
労働組合の取り組みにふれ、
特に、2006年(平成18
年)に「行政改革推進法」が
成立した際には、特別会計
改革、総人件費改革として、
国有林の2分化問題が閣議
決定(国有林の職員のうち、
1970人を独立行政法人
に移管する等)された中、
本部は、組合員の雇用と身
分を守るために、国会対策
をはじめとする政治闘争を
展開し、地本・分会でも当
局交渉や、県・市町村議会
で「国有林の2分化に反対
する意見書」の議会決議な
どに取り組み、最終的には、
政権交代もあって国有林野



労働組合の役割、林野労組の取り組みについて
講義を行う宮口地本書記長

事業の2分化を阻止し、組
合員の雇用と身分を守るこ
とができたことなど、取り
組みの経過に学びました。

講座②については、石原
史貴・森林労連共済職員か
ら、「戦後復興期の195
0年代は、火災保険の保険

料が非常に高額で労働者が
加入することが難しかった
中、労働者が自らの手で生
活防衛を行う労働運動(火
災共済事業)を開始したこ
とが共済運動の出発点であ
り、その後、労働組合に
よって、現在の全労済を誕
生させたこと」「共済運動
は、組合員の不安やリスク
を取り除くための労働者同
士のたすけあい運動である
こと」「共済が取り扱う補
償は、多くの組合員が利用
することで割安な掛金を実
現し、組合員の声を反映し
て作り上げてきた制度であ

ること」など、営利を目的
とせず、組合員の相互扶助
と団結を目的に始まった森
林労連共済の生い立ちや、
森林労連共済が取り扱う各
種補償の内容などについて
学習を深めました。



2023地本女性集会

共有と交流から運動の前進へ



写真上…分散会にてお互いの状況を共有
写真下…イチゴ狩りで交流する参加者

【山口通信員、青女委】
4月22日、「2023地
本女性集会」を行いました。
新型コロナウイルスの影響
から今集会は、数年ぶりの
開催となりました。

今回は、青年女性委員同
士の交流を一つのテーマと
して開催したことから女性
委員だけに限らず、若手の
男性組合員も参加して開催
しました。各分会から10人
の青年女性委員が参加し、
常任委員を含む17人が参加
しました。

最初の局で開会の挨拶を
行ったのち、西島園芸団地
に移動し、イチゴ狩りを行
ないました。旬を迎え赤々
と色づくイチゴを、時に味
変に練乳を加え各々が心ゆ
くまでイチゴを堪能しなが
ら、参加者全体で交流を深
めていきました。

その後、局にて分散会を
行い、お互いの生活・職場
実態などについて話し合い
ました。1年目、2年目の
参加者も多かったことから
1年目、2年目の組合員が
感じた悩みや職場の状況を
話し合いました。また、先
輩組合員がこれまで感じた
自身の経験や年休や育休な
どの各種制度の話を交えな
がら、アドバイスする姿が
見られました。



性特有の悩みの共有や休暇
等の制度について知れたこ
とや、他分会の女性との交
流を図ることができたこと
が良好に感じられました。こ
の感想がありました。



このは

年々、各種選挙において
言われることは、投票率の
低迷。メディアなどでは、
選挙に行かない人の理由を
尋ねると、「投票しても何
も変わらない」といった諦
めの声や「そもそも興味
が無い」といった声も聞か
れる。その一方で、「投票し
たい」と思える候補者がい
ない」といった声もある▼興
味が無いから投票に行か
ないのではなく、理由があ
つて投票しないという態度
を示す際に、何も書かず
に投票する(白票を投ずる)
という選択もある。白票で
あつても有権者が投じた票
なので、投票率にはカウ
ントされる▼2019年の参
院選では、ある俳優が白票
に関するツイートをしたこ
とをきっかけに、ネット上
で話題となり、白票を投
じることについて「無効票
の意味が無い」という声があ
る一方で「託せる相手が
いない」という国民・住民の
意思表示である」という声
があつた。外国では白票を
投じることを訴えて、わざ
と立候補する候補もいると
の話もある。白票などの無
効票が異様に多い場合、世
間の注目を集め、これに
よって、その地域の問題
点が浮き彫りになり、それ
を社会に広く知らしめるこ
とができるのだという意見
もある▼いざにしろ、国
民の権利である選挙権。
「たった一票と思わず、政
治に参加していく必要はあ
るだろう。(どろ)

新入組合員の紹介

これからの将来を担う仲間を紹介

2023年度の組織拡大に向けた取り組みについては、4月以降、2023年度新規採用者及び選考採用者の組織化をはじめ、未加入者、管理職から組合員対象となった者、再任用職員、非常勤職員の組織化の取り組みを進めてきました。

この間、各分会で加入に向けて積極的に取り組む中で、2023年度新規採用者及び選考採用者の林野労働組への加入がされました。本紙を通じて新しい仲間を紹介いたします。

- Q1 趣味・特技
- Q2 職場の第一印象
- Q3 今一番興味が
あること
- Q4 皆さんへ一言

そのばた
としひろ
25歳



出身地 大阪府
出身校 近畿大学
勤務箇所 徳島署
治山グループ

等（一部ゲームでは大会出場経験有り）

- Q1 釣り、キャンプ、ゲーム
- Q2 外観：なんか小さい？役所感はない。
雰囲気：柔和、忙しそう
だけど落ち着いた空気。
- Q3 スマート林業の推進や技術開発、林業の担い手育成
- Q4 元々林学を学んでいたわけでもなく、知識も実力も

足りていない若輩者ですが、あたたかく見守っていただけましたら幸いです。



このばた
きつぺい
22歳

出身地 香川県
出身校 千葉大学
勤務箇所 愛媛署
業務グループ

かい雰囲気を感じました。

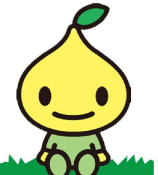
Q3 最近、現場に行く機会があり、その時から測量に興味を持ちました。



- Q1 出身地 愛媛県
出身校 伊予農業高校
勤務箇所 愛媛署
業務グループ
- Q2 サウナ、スポーツ
- Q3 静か
- Q4 バイクや車
- Q1 出身地 愛媛県
出身校 伊予農業高校
勤務箇所 愛媛署
業務グループ
- Q2 サウナ、スポーツ
- Q3 静か
- Q4 バイクや車

森林労連共済

ワンポイントアドバイス



新年度となり、改めて各種共済をご紹介します。

【総合共済】
本人だけでなく、ご家族の慶弔に対してもお支払する森林労連共済組合員の「団結」と「助け合い」からの独自の保障です。

【団体生命共済】
組合員本人の場合は、一律加入口数（基本契約40口・傷害特約40口・病氣入院特約30口）までは、健康状態に関わりなく加入出来ます。

【交通災害共済】
契約者（組合員）と同一生計の親族の方ならどなたでも加入いただける幅広い交通災害の保障です。

【火災共済】
建物・家財に係る保障です。

【自然災害共済】
火災共済に附帯する自然災害（台風や地震）に対応した保障です。自然災害が多発する中で、附帯することをお勧めしています。

【こくみん共済】
団体生命共済の入院費用の補完や子どもの病氣やケガなどの保障です。

未加入者の方は、この機会に是非、加入をご検討下さい。各分会共済担当者、または、地本共済担当の田所までお問い合わせ下さい。

田所 りゑ子

2023 人勧期署名行動

署名の取り組みへ ご協力ください

中央本部においては、2023 人事院勧告に向け、組合員の賃金等の引き上げをはじめとする労働条件の改善が図られるよう関係省交渉などに取り組みされており、その取り組みに併せて、①引き続き物価高騰下において、日々現場で奮闘する組合員の生活を守るため、全世代にわたる職員の賃金を引き上げること、②本年の人事院勧告において「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」に関する骨子案が示されることを踏まえ、本府省のみならず地方で働く職員にも十分に配慮した見直しを行うことなど、人事院に反映させることを目的として署名の取り組みを進めていますのでご協力をお願いいたします。

公務員連絡会【2023人勧期署名行動】

人事院総裁 様

要求事項

- 2023年の給与改定勧告にあたっては、全職員に対する月例給・一時金の引上げ勧告を行うこと。
- 「社会と公務の変化に応じた給与制度の整備」について、中央で働く職員のみならず地方で働く職員にも十分配慮すること。
- 公務における人材確保の観点から、引き続き初任給を中心とする若年層における民間賃金との格差解消を図ること。
- 地域手当については、これ以上の地域間格差を拡大しないこと。
- 再任用職員については、生活関連手当の支給をはじめ、その経済的負担や定年前職員との均衡を考慮して改善すること。

名 前	住 所



やまうち そうへい 23歳

出身地 愛媛県
出身校 伊予農業高校
勤務箇所 愛媛署
業務グループ

Q1 サウナ、スポーツ

Q2 静か

Q3 バイクや車

Q4 これからよろしくお願いします。



たがし
しょうえい
18歳

多賀 翔映 18歳

出身地 高知県
出身校 幡多農業高校
勤務箇所 四万十署
業務グループ

Q1 筋トレ、カラオケ、陸上競技、バレエ、サッカー

Q2 みんな優しく話しやすい。きれいな山について。

Q3 いろいろな山について。

Q4 仲良くしてください。



おはら
ひであき
18歳

小原 英明 18歳

出身地 高知県
出身校 高知農業高校
勤務箇所 高知中部署
治山グループ

Q1 散歩

Q2 とても仲がよさそうだった。

Q3 ニュース

Q4 よろしく願います。

